

研究活動

南 昌 宏

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表 の年月	発行所、発表雑誌又は 発表学会等の名称	概 要	編者・著者名 (共著の場合 のみ記入)	該当頁数
(著書) 1. 『白川静の世界』(仮題 題)	共著	2010. 9 (平成22年9月)	平凡社	「古代思想の問題点」「白川静の『儒 論』の2章を執筆。白川静の業績を一般 向けに解説している。	加地伸行編	2-35頁
(学術論文) 1. 『周礼』における鄭玄の 思想	単著	1991. 2 (平成3年2月)	大阪大学修士論文	鄭玄が最も重視する経書である『周 礼』の注釈を通じて、鄭玄が理想とす る国家とは何か、理想的国家は実現可 能か、を論じる。		
2. 『日本における『周礼』 研究論考』略述	単著	1991. 6 (平成3年6月)	『中国研究集刊』10	日本国内のものを中心に、『周礼』 に関する研究史をまとめ、問題点を指 摘する。		84-92頁
3. 鄭玄の感生帝説一周の始 祖説話を中心として	単著	1992. 8 (平成4年8月)	『中国研究集刊』11	讖緯思想のひとつと認識されがちな 感生帝の物語を、経学上の問題として とらえなおした。更に、鄭玄は経書と 緯書とを有機的に結び付ける学説にま で、感生帝の物語を昇華したと考え る。		44-66頁
4. 『鄭玄の経学』に表れた 人物評価	単著	1992. 12 (平成4年12月)	『待兼山論叢』26	子路・魯の哀公・王莽という三人に 対する著述態度を考察することによ り、「先入観の排除」と「事実の重視 」という二点が鄭玄の基本的姿勢で あると結論づける。		17-33頁
5. 中井履軒撰『古文真宝雕 題』について	単著	1993. 1 (平成5年1月)	『懷徳』61	大阪大学付属図書館が蔵する『古文 真宝雕題』五種類のテキストに関する 書誌の報告と、個々のテキストの比較 による相互関係の考察。		44-55頁
6. 中井履軒『中庸』関連諸 本の考察	単著	1994. 1 (平成6年1月)	『懷徳』62	大阪大学付属図書館が蔵する『中庸 雕題』に関連する五種類のテキストの 書誌の報告と検討。錯簡説についての 新見解を提出する。		66-77頁
7. 『韓非子』における孔子 像	単著	1994. 6 (平成6年6月)	『中国研究集刊』14	儒家との相異が指摘されがちな『韓 非子』について、孔子像を考察する ことによって、儒家と法家との共通性 を論じ、『韓非子』の思想史上の位置 を再検討する。		63-91頁
8. 先秦の儒家文献における 哀公説話の展開	単著	1996. 2 (平成8年2月)	『高野山大学論叢』31	『春秋左氏伝』『論語』『孟子』 『荀子』の検討によって、哀公の事績 の多くが意図的に創作されたものであ ることを証明し、その創作意図である 「孔子と対話する君主」という哀公像 について考察する。		1-12頁
9. 分類に見る中国の世界観 について	単著	1996. 3 (平成8年3月)	『類書の総合的研 究』 (平成6、7年度科 研費研究成果報告 書)	分類という行為・思想が民族性を反 映するものであることを基礎に、『芸 文類聚』ではほぼ完成を見る類書の分類 に至るまでの、中国人に独特の思想を 探る。		127-134頁
10. 『四庫全書総目提要』に おける『爾雅』評価の考察	単著	1996. 9 (平成8年9月)	『高野山大学論文集』	十三経に含まれる『爾雅』である が、『四庫提要』による評価は非常に 低い。しかしながら、その評価は一面 的なものに過ぎず、再評価の必要があ ることを論ずる。		201-212頁
11. 『韓非子』における哀公 説話	単著	1998. 2 (平成10年2月)	『高野山大学論叢』33	『韓非子』に見られる哀公説話に よって哀公が「愚か者」と規定されて 行く過程を考察し、後世に与えた影響 の大きさを論ずる。		95-112頁
12. 学制に見る空海入唐前の 学問	単著	1999. 1 (平成11年1月)	「『弘法大師の思想 とその展開』高野山 大学密教文化研究所 紀要」別冊1	空海入唐前の日本の大学の状況を考察 し、空海がなぜ仏教に傾倒して行ったの かを論じる。		117-134頁
13. 『周礼』天官の構成	単著	2000. 2 (平成12年2月)	『高野山大学論叢』35	表にすることで、天官の全体像をと らえることを目的とする。卿・大夫・		65-83頁

14. 高校国語教科書における漢文教材の難点	単著	2002. 3 (平成14年3月)	『高野山大学論叢』37	士の爵等および代表的な官職について、『周礼』の構成から見た特徴を解説する。	67-77頁
15. 『秘密曼荼羅十住心論』の典故表現から見た空海の外教観	単著	2003. 3 (平成15年3月)	『密教文化』210	漢文教材について、現在の教科書に見られる様々な問題点を指摘し、改善案を示す。	35-55頁
16. 先秦の書誌文献における太公望説話	単著	2006. 3 (平成18年3月)	『高野山大学論叢』41	『十住心論』の文章表現から、道家思想を儒教から仏教への媒介として空海が捉えていたことを論じる。	
17. 『呂氏春秋』における哀公説話	単著	2006. 4 (平成18年4月)	『中国学の十字路』加地伸行博士古稀記念論集	太公望について、文の周公旦、武の太公望という観点から人物像が作られた可能性について論じる。	112-124頁
18. 【密教研究会六十周年記念シンポジウム】概括および抄録	単著	2008. 3 (平成20年3月)	『密教文化』220	哀公説話の検討を通じて、雑家と称される『呂氏春秋』にも、首尾一貫した人物像を保つ傾向があることを論じる。	171-172頁 107-116頁
19. スピリチュアリティと儒教	単著	2008. 3 (平成20年3月)	『高野山大学論叢』43	標記シンポジウムの概括。さらに、録音したシンポジウムを文章化した。	
20. 空海『梵字悉曇字母并釈義』における典故―「弄玉難信」「案剣夜光」について―	単著	2012. 3(平成24年2月)	『高野山大学論叢』47	スピリチュアリティあるいはスピリチュアルに関する発言が盛んになりつつあるが、その中でも日本の伝統文化に深く関わる「儒教」への言及がないことを指摘した。	51-63頁
(学会発表) 1. 空海思想に見える中国文化の影響		2006. 9 (平成18年9月)	高野山国際密教学術大会		
2. 『韓詩外伝』における哀公説話		2006. 10 (平成18年10月)	日本中国学会第58回大会		
(その他) 1. 本書底本の解題	共著	1994. 3 (平成6年3月)	『懷徳堂文庫本中庸離題并中庸関係諸本』 (大阪大学懷徳堂文庫復刻刊行会)	大阪大学付属図書館が蔵する『中庸離題』に関連する十一種類のテキストの解題。	199-202頁
2. 大阪大学懷徳堂文庫所蔵『中庸離題』関連諸本	単著	1994. 3 (平成6年3月)	『懷徳堂文庫本中庸離題并中庸関係諸本』 (大阪大学懷徳堂文庫復刻刊行会)	大阪大学付属図書館が蔵する『中庸離題』に関連するテキストの解説。錯簡説についての新見解を提出する。	218-225頁
3. 大阪大学懷徳堂文庫所蔵『詩離題』関連諸本	単著	1995. 3 (平成7年3月)	『懷徳堂文庫本詩離題』 (大阪大学懷徳堂文庫復刻刊行会)	大阪大学付属図書館が蔵する『詩離題』に関連するテキストの解説。	328-336頁

所属	文学部	職名	教授	氏名	南 昌宏	大学院の授業担当の有無 (有)
教育活動						
教育上の主な業績		年月日		概 要		
1. 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)				黒板は、端から端まで広く使い、文字が長く残るようにする。板書の文字は手の平大の楷書で難解字にはルビを付す。授業ごとに、初級・中級・上級と格差のある内容にしている。学生には、自分の考えを論理的に明確に表現できるようになるよう、指導している。		
2. 作成した教科書、 教材、参考書		2008. 3. 1 (平成20年3月1日)		講義形式の授業では、受講生が漢文の原文に接するよう、毎回プリントを配布している。 高野山大学において使用する「日本語」テキストを共著。ほぼ毎年、改訂している。 高野山大学大学院通信教育課程テキスト『三教指帰を読む』		
3. 教育方法・教育実践 に関する発表、講演等						
4. その他教育活動上 特記すべき事項		1999年4月 ～2006年3月 (平成11年4月 - 平成18年3月) 2006年4月 ～2007年3月 (平成18年4月 - 平成19年3月) 2001年4月 ～2008年3月 (平成13年4月 - 平成20年3月) 2008年～現在 (平成20年-現在) 2009年 (平成21年)		撰南大学非常勤講師 皇學館大学非常勤講師 高野山高校において漢文の授業を担当 修士論文の口述試問(副査)を担当。 博士論文の口述試問(副査)を担当。		

学会等および社会における主な活動		南 昌宏
	日本中国学会	
	大阪大学中国学会	
2003年5月～2005年5月 (平成15年5月～平成17年5月)	高野山大学生生活協同組合理事長	
2006年4月～現在 (平成18年4月～現在)	密教研究会（幹事・編集員）	
2008年5月～2012年5月 (平成20年5月～平成24年5月)	高野山大学生生活協同組合監事	
2008年8月 (平成20年8月)	高野山大学夏季セミナー講師	
2009年5月～2013年5月 (平成21年5月～平成25年5月)	(財)和歌山人権研究所理事	
2009年 (平成21年)	コンソーシアム和歌山大学等地域貢献促進事業審査委員	
2010年8月 (平成22年)	高野山大学夏期セミナー講師	
2010年8月～現在 (平成22年8月～現在)	高野山21世紀医療フォーラム運営委員	
2012年5月～現在 (平成24年5月～現在)	高野山大学生生活協同組合理事長	
2013年 (平成25年)	コンソーシアム和歌山大学等地域貢献促進事業審査委員	
2013年4月～現在 (平成25年4月～現在)	大学生協阪神事業連合理事（非常勤）	
大学行政への係わり（所属委員会）		
平成13年度（2001年）	学生部協議会 学報編集委員会 図書選択委員会 自己点検基本事項検討委員会 情報処理委員会	
平成14年度（2002年）	自己点検・評価検討委員会 F D問題検討会議 学生部協議会 図書選択委員	
平成15年度（2003年）	自己点検・評価検討委員会 教務委員会（企画講座係） 図書選択委員	
平成18年度（2006年）	自己点検・評価検討委員会 情報処理委員会 学生部協議会 図書選択委員 創立120周年記念事業委員	
平成19年度（2007年）	学生募集戦略本部 人権研究会 F D問題検討会議 学生部 協議会 図書選択委員	
平成20年度（2008年）	教務委員会 学生募集戦略本部 図書館協議会 密教文化研 究所兼任研究所員	

平成21年度 (2009年)	教務委員会 人権研究会 密教文化研究所協議会 密教文化研究所兼任研究所員
平成22年度 (2010年)	自己点検・評価検討委員会 教務委員会 人権研究会 密教文化研究所協議会 密教文化研究所兼任研究所員
平成23年度 (2011年)	自己点検・評価検討委員会 教務委員会 人権研究会 密教文化研究所協議会 密教文化研究所専従研究所員
平成24年度 (2012年)	自己点検・評価検討委員会 教務委員会 人権研究会 密教文化研究所協議会 密教文化研究所専従研究所員
平成25年度 (2013年)	自己点検・評価検討委員会 教務委員会 密教文化研究所協議会 密教文化研究所兼任研究所員 企画・広報委員会 (主幹)